

Highly Sensitive Person/Child

HSP連続講座

— 高い感性のある人への理解と支援 —



じっくり学べる3回シリーズ

第1回	4月14日(日)	} 14:00~17:00
第2回	5月12日(日)	
第3回	6月16日(日)	

Highly Sensitive Personとは？

HSP（子どもの場合はHSC：Highly Sensitive Childと言われる）は、環境の刺激への敏感さ、感受性の高さが特徴です。研究では、人口の15~20%にこうした特徴をもつ人たちがいるとされています。

HSPは、疾患や障がいではありません。しかし、不登校などの問題を抱える子どもや精神疾患のある人たちの中には、もともとの特性として、高い感性をもつ人たちがいることも知られるようになってきました。

HSPはまだ新しい概念ですが、これまで「不安の高い子」「生きづらい人」とみなされ十分に理解されてこなかった人たちに脚光を当て、支援の糸口を見出すものとして関心が高まっています。



講師 プロフィール



串崎 真志 関西大学大学院 心理学研究科 教授

国内外の研究に幅広い知見を持つ地道なレビューアー。心理学だけでなく、動物行動学や脳神経科学など多岐にわたる領域に関心がある。専門は、共感の科学と実践。HSPの人たちの共感力の高さに注目している。著書『共感する心の科学』風間書房、『心は前を向いている』岩波ジュニア新書ほか



望月 直人 大阪大学キャンパスライフ健康支援センター 准教授

専門は、発達障がい児者や社会的養護の子どもたちの支援と研究。HSPについては、発達障がいとの関連や違いを明らかにすることを研究課題としている。また、自身の経験からHSPの家族支援の重要性に関心を持つ。著書『絶対役に立つ臨床心理学 第6章』ミネルヴァ書房ほか

全3回 (日曜日 14:00~17:00) 定員40名 ※先着順

第1回 4/14	<p>【HSPとは何か？】</p> <p>HSPは一般書などでは少しずつ知られるようになってきましたが、研究報告はまだ多くはありません。HSPとはそもそも何なのか？概念を整理し、脳科学、原因、エンパスempathとの関連など最新の研究知見をわかりやすく解説します。</p>
第2回 5/12	<p>【発達障がいの感性との違い】</p> <p>感覚の敏感さは、発達障がいの特徴としても知られています。HSPと発達障がいは別のものなのか、共通する基盤があるのかなどについて、講師の臨床実践からの見解も交えて解説します。</p>
第3回 6/16	<p>【事例と支援方法】</p> <p>参加者もしくは講師が経験したHSP事例を取り上げながら、HSPの実像に迫ります。HSPへの効果的な支援方法を紹介し、HSPに対する理解が従来の臨床実践にあたえるインパクトを考えます。</p>

対象 : 対人援助職の方、HSPに関心がある方

参加費 : 各回 4,000円 (単回参加も可)、全回参加 10,000円 (割引)

申込み : QRコードまたは下記URLの申込フォームからお申込みください

<http://www.terakoya-hygge.jp/access.html>

- ①参加者名 ②イベント名「HSP連続講座」
③参加希望の回 ④職種 ⑤ご所属 をご記入ください

会場 : 上行寺 (大阪市港区2丁目15-7)
地下鉄中央線 弁天町駅1番出口より徒歩10分

申込フォーム

